

【義務教育学校の開設に向けた取り組み】

令和6年に開学する新たな学校の校名が『亀岡市立 育親学園』に決定し、現在、亀岡市議会9月定例会に条例提案されています。

10月からは、新たな学校の校歌や校章、施設設計や通学方法、義務教育学校としての教育プログラム等の多くの項目についての具体的な検討が、自治会やPTA、学校らで組織する調整会議からの意見を聞きながら、開校までの一年半の間に進められていきます。

令和6年4月には、現育親中学校の校舎を使用して育親学園を開校。新校舎は、現育親中学校グラウンドに建設して、完成次第新校舎へ移る計画で進められます。

その後、旧校舎の除去・整地を終えて、新たな学校づくりの全てが終了となります。

校舎整備のスケジュール案

- 現育親中学校校舎を使用し令和6年4月二義務教育学校を開校します
- 新校舎は現育親中学校グラウンドに建設します
- 新校舎が完成次第、新校舎へ移動し学習を継続・発展させます
- 新校舎へ移動後に現育親中学校校舎を除却しグラウンド等を整備します

